

# 8 松毛川「千年の森」再生プロジェクト



特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 静岡県 三島市・沼津市

## 1 社会資本の概要

静岡県三島市と沼津市の市境に位置する「松毛川」(沼津市は「灰塚川」と呼ぶ)は、昭和初期の堤防工事によって三日月形の止水域となった、総延長約1.3km、樹林と湖沼面積約6haの狩野川の旧河川敷であり、昔の河道が改変されずに今も残っており、全国的にみても大変貴重な水辺自然環境です。両岸には、エノキやムクノキの巨木など貴重な河畔林・樹林帯が生育し、地域の生物多様性の重要なホットスポットになっています。

しかし放置竹林の拡大や外来生物の侵入など、環境被害も発生しています。そこで本会では、松毛川を「環境教育園・サンクチュアリ」として再生すべく、地域協働による多様な河畔林再生活動「千年の森づくり」に、20年間にわたり取り組んでいます。



松毛川最上流部から両岸の河畔林を望む



松毛川空中写真(手前を流れるのが狩野川)



放置竹林に覆われた河畔林

## 2 取組の背景、取組概要と創意工夫

松毛川では、近年、ヘドロの堆積、ゴミや産業廃棄物の投棄、河畔林の枯死・倒木、放置竹林の拡大といった様々な環境被害の進行とともに、地域住民・土地所有者の高齢化による放置・荒地化が問題になっています。

そこで本会では、巨木群を覆う総延長約2.4kmの放置竹林の伐採と、伐採跡地への潜在自然植生12種・7,000本以上の植林、伐採した竹のチップ化(竹チップは苗木の肥料として活用)、止水域を覆

いつくすほど繁殖した外来種ホテイアオイの駆除、不法投棄された粗大ゴミの除去など多様な環境再生活動に取り組んできました。

さらに、松毛川の環境の貴重性や環境再生の経緯などを伝えるため、これらの活動を高校や大学、企業の実習・研修の場として活用したり、専門家を講師に招いた自然観察会を開催したり、環境教育やSDGs実践活動にも取り組んでいます。



地域協働によるゴミや産業廃棄物の清掃活動



大学生による放置竹林伐採作業



地元中学生による植林活動

## 3 活動の成果や波及効果等

巨木群を覆い隠していた放置竹林の伐採が進んだ結果、これまで竹林に隠されていた河畔林・川面・富士山の眺望が楽しめるようになり、また、植林した苗木約7,000本が順調に成長し、原風景の森が再生されてきたことで、最近では県内外への認知が進み、自然散策やバードウォッチングに訪れる観光客が増加してきました。

また令和2年には、約3,000m<sup>2</sup>の三島市側の河畔林をトラスト活動によって本会が買収し、本会による恒久的な河畔林の保全が可能となりました。



河畔林再生によりご神木現る



狩野川堤防から望む松毛川河畔林と富士山の景観美



松毛川でのバードウォッチング



トラスト活動により取得した河畔林

## 喜びの声



**受賞者**  
特定非営利活動法人  
グラウンドワーク三島  
専務理事  
渡辺 豊博

## コメント

長年にわたる地道な環境改善活動を、このような形で評価していただき、大変うれしく思います。グラウンドワーク三島は、20年間にわたり、汚れ、荒廃した松毛川を、地域協働の力により保全・再生し、放置竹林の伐採や植林活動の成果によって新たな「千年の森」が形成されてきています。今回の受賞を原動力に、今後も思直な市民活動を続けていきます。

## 活動の内容

- 三島市内の水辺自然環境再生活動(松毛川、源兵衛川、御殿川、大場里山、境川・清住緑地等)
- 「環境出前講座」の開催
- 富士山麓の湧水地保全活動
- 農業事業(「三島そば」「三島米・ゆめみしま」等の栽培)

## 活動の経歴

- 平成4年 グラウンドワーク三島設立
- 平成14年 松毛川千年の森再生プロジェクト開始
- 令和3年 第21回中部の未来創造大賞「大賞」受賞
- 令和4年 第6回三島市景観賞「優秀賞」受賞
- 令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

- 所在地** 静岡県三島市御園、沼津市大平地区
- 活動主体及び連絡先** 特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島  
静岡県三島市芝本町6-2  
TEL:055-983-0136 E-MAIL:info@gwmishima.jp
- 対象となる社会資本** 松毛川(灰塚川)

